

(15) レタス (結球レタス)

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 斑点細菌病 <i>Xanthomonas axonopodis</i> pv. <i>vitians</i>	1. 育苗は風当たりの少ないところで行なう。 2. 水稻の作付けは本病の発生を抑制する。 3. トンネル被覆は遅れないようにする。 4. 凍霜害を避ける。 5. マルチを行い、土壌のはね上がりを少なくする。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. カスミンボルドー、銅シン水水和剤は、炭酸カルシウム水和剤（クレフノン）を加用する。 2. 結球期以降は汚れのおそれがあるので使用しない。 3. マスタピース水和剤は生菌のため、低温保存する。	定 植 時	P2	オリゼメート粒剤
		定植後から数回	M1 M1 M1 M1 －(生) 2・M1 24・M1 24・M1 31・24 31・M1	キノンドー水和剤 40 キノンドーフロアブル キノンドー顆粒水和剤 ヨネポン水和剤 (生)マスタピース水和剤 (混)ロブドー水和剤 (混)カスミンボルドー (混)銅シン水水和剤 (混)カセット水和剤 (混)ナレート水和剤
2 腐敗病 <i>Pseudomonas cichorii</i> <i>P. marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> <i>P. viridiflava</i>	1. 育苗は風当たりの少ないところで行なう。 2. 水稻の作付けは本病の発生を抑制する。 3. トンネル被覆は遅れないようにする。 4. 凍霜害を避ける。 5. 連作を避ける。 6. 発病株は早期に除去する。 7. 排水を良好にする。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. スクレタン水和剤、カスミンボルドー、銅シン水水和剤は、炭酸カルシウム水和剤（クレフノン）を加用する。 2. 銅水和剤及びその混合剤は、結球期以降は汚れのおそれがあるので使用しない。 3. ベジキーパーは10℃以下で保存し、開封後は使い切る。 4. マスタピース水和剤は生菌のため、低温保存する。	定 植 時	P2	オリゼメート粒剤
		定植後から数回	25 25 31 M1 M1 M1 M1 M1 M1 U18 －(生) －(生) 2・M1 M1・2 31・24 24・M1 24・M1 25・M1 31・M1 M1・M5 NC・M1	アグレプト水和剤 マイシン 20水和剤 スターナ水和剤 オキシンドー水和剤 80 キノンドー水和剤 40 キノンドー水和剤 80 キノンドーフロアブル キノンドー顆粒水和剤 ドキリンフロアブル ヨネポン水和剤 バリダシン液剤 5 (生)ベジキーパー水和剤 (生)マスタピース水和剤 (混)ロブドー水和剤 (混)スクレタン水和剤 (混)カセット水和剤 (混)カスミンボルドー (混)銅シン水水和剤 (混)ドーマイシン水和剤 (混)ナレート水和剤 (混)シトラノフロアブル (混)ジーファイン水和剤
3 軟腐病 <i>Pectobacterium carotovorum</i>	1. 排水を良好にする。 2. 水稻の作付けは本病の発生を抑制する。 3. ヨトウムシ、ナメクジ等の害虫を防除する。 4. 発病株は早期に抜き取り、埋めるか、処分する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. キンセット水和剤80は、石灰硫黄合剤との混用は避ける。 2. スクレタン水和剤には、炭酸カルシウム水和剤（クレフノン）を加用する。 3. 結球期以降は汚れのおそれがあるので使用しない。 4. マスタピース水和剤は生菌のため、低温保存する。	定植後から数回	31 M1 M1 M1 M1 M1 U18 －(生) 2・M1 M1・2 25・M1 31・M1 31・24 M1・M1 M1・M1 M1・M5	スターナ水和剤 キノンドー水和剤 40 キノンドーフロアブル キノンドー顆粒水和剤 ドキリンフロアブル ヨネポン水和剤 バリダシン液剤 5 (生)マスタピース水和剤 (混)ロブドー水和剤 (混)スクレタン水和剤 (混)ドーマイシン水和剤 (混)ナレート水和剤 (混)カセット水和剤 (混)キンセット水和剤 (混)キンセット水和剤 80 (混)シトラノフロアブル

農薬の使用法や注意事項はラベルで確認する

レタス

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
4 菌核病 <i>Sclerotinia sclerotiorum</i>	1. アブラナ科野菜との連作は避ける。 2. 発病株は早期に発見し、菌核ができる前に抜き取って処分する。 3. マルチを行う。 4. トンネル栽培では近紫外線除去フィルムを使用する。 5. 夏期に湛水可能な圃地は、高温時に20日間以上湛水すると、菌核が死滅するので有効である。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. 本病を対象にトップジンM水和剤、ベンレート水和剤で防除を実施しているところでは、斑点病の発生が少ない。 2. スクレタン水和剤は炭酸カルシウム水和剤（クレフノン）を加用する。 3. 本病を対象にアミスター20フロアブル、ベジセイバー、カナメフロアブルで防除を実施しているところでは、白絹病の発生が少ない。	発病前から	1 1 2 2 7 7 7 7 7 7 7 11 11 11 11 19 M7 M7 10・1 10・1 10・2 M1・2 M1・2 11・7 7・M5	トップジンM水和剤 ベンレート水和剤 ロブラール水和剤 スミレックス水和剤 カンタスドライフロアブル アフエットフロアブル ケンジャフロアブル パレード20フロアブル ネクスターフロアブル カナメフロアブル アミスター20フロアブル スクレアフロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤 メジャーフロアブル ポリオキシシンAL水溶剤 ベルクート水和剤 ベルクートフロアブル （混）ゲッター水和剤 （混）ニマイバー水和剤 （混）スミブレンド水和剤 （混）スクレタン水和剤 （混）ロブドール水和剤 （混）シグナムWDG （混）ベジセイバー
5 灰色かび病 <i>Botrytis cinerea</i>	1. 収穫残さは埋める。 2. マルチを行う。 3. トンネル栽培では近紫外線除去フィルムを使用する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. スクレタン水和剤は、炭酸カルシウム水和剤（クレフノン）を加用する。 2. 本病を対象にアミスター20フロアブル、ベジセイバー、カナメフロアブルで防除を実施しているところでは、白絹病の発生が少ない。	発病前から	1 1 2 2 7 7 7 7 7 11 11 19 M7 1・M5 10・1 10・1 10・2 M1・2 11・7 7・M5	トップジンM水和剤 ベンレート水和剤 ロブラール水和剤 スミレックス水和剤 カンタスドライフロアブル アフエットフロアブル パレード20フロアブル カナメフロアブル アミスター20フロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤 ジオゼット水和剤 ベルクート水和剤 （混）ダコレート水和剤 （混）ゲッター水和剤 （混）ニマイバー水和剤 （混）スミブレンド水和剤 （混）スクレタン水和剤 （混）シグナムWDG （混）ベジセイバー
6 すそ枯病 <i>Rhizoctonia solani</i>	1. 水稻の作付けは本病の発生を抑制する。 2. マルチを行い、土が株にかからないようにする。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. 本病を対象にダコニール1000、アミスター20フロアブル、ベジセイバー、カナメフロアブルで防除を実施しているところでは、白絹病の発生が少ない。	発病前から	2 7 7 7 7 7 11 11 14 U18 M5 1・M5 11・7 7・M5 31・14 31・M1 40・M5 M1・M5	ロブラール水和剤 バシタック水和剤 7 5 モンカットフロアブル 4 0 パレード20フロアブル ネクスターフロアブル カナメフロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤 アミスター20フロアブル リゾレックス水和剤 バリダシン液剤 5 ダコニール 1 0 0 0 （混）ダコレート水和剤 （混）シグナムWDG （混）ベジセイバー （混）ソタールWDG （混）ナレート水和剤 （混）カーニバル水和剤 （混）シトラノフロアブル

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

レタス

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
7 白絹病 <i>Sclerotium rolfsii</i>	1. 連作を避ける。 2. 被害茎葉は圃場外で処分する。 3. 夏期に湛水可能な圃場は、高温時に20日以上湛水すると、菌核が死滅するので有効である。 4. 輪作をする場合は、ナス科、ウリ科、アブラナ科、マメ科などを犯すので（多犯性）、作物選定に注意する。 5. 発病圃場では穀殻は使用しない。	発 生 初 期	7 7 14	ア フ ェ ッ ト フ ロ ア ブ ル モ ン カ ッ ト フ ロ ア ブ ル 4 0 リ ゴ レ ッ ク ス 水 和 剤
8 パーティシリウム 萎凋病 <i>Verticillium tricornis</i> <i>V. dahliae</i>	1. 発病株は抜き取って圃場外で処分する。 2. 圃場の排水を良好にする。 3. トラクター等の農機具や長靴等の洗浄・消毒を徹底する。	定 植 時	32	タ チ ガ レ ン 液 剤
9 ベと病 <i>Bremia lactucae</i>	1. マルチ栽培を行う。 〈薬剤使用の特記事項〉 ●発病初期 1. キノンドー水和剤、ヨネボン水和剤、シトラーノフロアブル、フェスティバルC水和剤は、結球期以降は汚れのおそれがあるので使用しない。 2. 本病を対象にダコニール1000、アミスター20フロアブル、ベジセイバーで防除を実施しているところでは、白絹病の発生が少ない。	定 植 当 日	43・40	(混) ジャストフィットフロアブル
		発 病 初 期	11 11 21 21 40 M1 M1 M5 1・M5 4・M5 7・M5 11・7 43・40 45・40 40・M1 40・M5 M1・M5 21・49 49・11 49・40	ア ミ ス タ ー 2 0 フ ロ ア ブ ル メ ジ ャ ー フ ロ ア ブ ル ラ ン マ ン フ ロ ア ブ ル ラ イ メ イ フ ロ ア ブ ル レ ー バ ス フ ロ ア ブ ル キ ノ ン ド ー 水 和 剤 4 0 ヨ ネ ボ ン 水 和 剤 ダ コ ニ ー ル 1 0 0 0 (混) ダ コ レ ー ト 水 和 剤 (混) フ ォ リ オ ゴ ー ル ド (混) ベ ジ セ イ バ ー (混) シ グ ナ ム W D G (混) ジャストフィットフロアブル (混) ザ ン プ ロ D M フ ロ ア ブ ル (混) フェスティバルC水和剤 (混) カ ー ニ バ ル 水 和 剤 (混) シ ト ラ ー ノ フ ロ ア ブ ル (混) ゴ ー ベ ッ ク エ ン テ ク タ S E (混) ゴ ー ベ ッ ク エ ン カ ン テ ィ ア S E (混) オ ロ ン デ ィ ス ウ ル ト ラ S C
10 ビッグベイン病 (M i L B V V)	1. 耐病性品種を作付けする。 2. 発生圃場では、秋か春に収穫する作型を選ぶ。 3. 圃場の排水を良好にする。 4. トラクター等の農機具や長靴等の洗浄・消毒を徹底する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. フロンサイドSCは軟腐病にも登録がある。	播種または 定植前	29	フ ロ ン サ イ ド 粉 剤
		定 植 前	29	フ ロ ン サ イ ド S C
		定 植 時	1 11 M5	ト ッ プ ジ ン M 水 和 剤 ア ミ ス タ ー 2 0 フ ロ ア ブ ル ダ コ ニ ー ル 1 0 0 0
11 アブラムシ類 (モザイク病 CMV LMV)	1. 苗床では防虫ネット（1mm目合以下）で被覆する。 2. LMVは種子伝染するので、種子は健全なものを使用する。 3. 発病株は早期に処分する。 4. シルバーポリマルチ、シルバーストラップマルチをする。	播 種 前	28・4A	(混) ミ ネ ク ト デ ュ オ 粒 剤
		播 種 覆 土 後 ～ 育苗期後半	28・4A	(混) ミ ネ ク ト デ ュ オ 粒 剤
		育 苗 期 後 半	4A 4A 4A 4A	ア ド マ イ ヤ ー 1 粒 剤 ア ク タ ラ 粒 剤 5 ダ ン ト ツ 粒 剤 ベ ス ト ガ ー ド 粒 剤
		育 苗 期 後 半 ～ 定植当日	28 28 28 28・4A 4A・28	ブ リ ロ ッ ソ 粒 剤 オ メ ガ ベ リ マ ー ク S C ヨ ー バ ル フ ロ ア ブ ル (混) ジ ユ リ ボ フ ロ ア ブ ル (混) ア ベ イ ル 粒 剤
		定 植 前 日 ～ 定植当日	4A	モ ス ピ ラ ン 粒 剤

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

レタス

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
	●発生初期 1. 本虫対象に防除を実施しているところでは、ヒメフタテンヨコバイの発生が少ない。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. セフィーナDCは展着成分を含むため展着剤の加用は必要ない。	定 植 前 日 ～ 定 植 時	4A 4A 28・4A	アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 (混)キックオフ顆粒水和剤
		定 植 時	4A 4A 28・4A	アルバリン粒剤 スタークル粒剤 (混)ミネクトデュオ粒剤
		発 生 初 期	1A 1B 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4C 9B 9D 21A 21A 23 28 29 3A・1B 28・4A 21A・22B	ランネット45DF オルトラン水和剤 アデイオン乳剤 アグロスリン水和剤 アグロスリン乳剤 サイハロン水和剤 マブリック水和剤20 トレボン乳剤 トレボンEW アドマイヤーフロアブル アドマイヤー顆粒水和剤 モスピラン顆粒水溶剤 ベストガード水溶剤 アクタラ顆粒水溶剤 ダントツ水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 トランスフォームフロアブル コルト顆粒水和剤 セフィーナDC ハチハチ乳剤 ハチハチフロアブル モベントフロアブル ベネビアOD ウララDF (混)ハクサップ水和剤 (混)ジュリボフロアブル (混)アクセルキングフロアブル
12 ヒメフタテンヨコバイ 〔 萎黄病 Phytoplasma 〕	1. 苗床では防虫ネット（1mm目合以下）で被覆する。 2. 発病株は早期に処分する。	育 苗 期 後 半	28・4A	(混)ミネクトデュオ粒剤
		育 苗 期 後 半 ～ 定 植 当 日	28 28・4A	ベリマーケSC (混)ジュリボフロアブル
		発 生 初 期	21A	ハチハチフロアブル
13 アザミウマ類	1. 畦畔雑草を除去する。	発 生 初 期	30	グレーシア乳剤
14 ヨトウムシ	1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。 2. 苗床では飛び込み軽減のため、防虫ネット（4mm目合以下）で被覆する。 〈薬剤使用の特記事項〉 ●若齢幼虫期 1. 老齢幼虫には薬剤の効果が劣るので、圃場をよく見回り、若齢期に防除する。	育 苗 期 後 半 ～ 定 植 当 日	28 28 4A・28 4A・28	プレバソフロアブル5 ヨーバルフロアブル (混)アベイル粒剤 (混)ジュリボフロアブル
		定 植 前 日 ～ 定 植 時	4A	モスピラン粒剤
		若 齢 幼 虫 期	1A 1B 1B 3A 4E 5 13 15 22A 22A 28 28	ランネット45DF オルトラン水和剤 ジェイエース水溶剤 バイスロイド乳剤 フィールドマストフロアブル スピノエース顆粒水和剤 コテツフロアブル カスケード乳剤 ファイントリムDF トルネードエースDF フェニックス顆粒水和剤 ベネビアOD

農薬の使用法や注意事項はラベルで確認する

レタス

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
			28 30 5・18 21A・22B 28・4A	ブレバソnfフロアブル 5 ブ ロ フ レ ア S C (混)ファルコンエースフロアブル (混)アクセルキングフロアブル (混)ジュリボフロアブル
15 ハスモンヨトウ	1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。 2. 苗床では飛び込み軽減のため、防虫ネット（4mm目合以下）で被覆する。 〈薬剤使用の特記事項〉 ●発生初期 1. 老齢幼虫には薬剤の効果が劣るので、圃場をよく見回り、若齢期に防除する。 2. 薬剤感受性の低下が見られる地域があるので注意する。	育苗期後半 ～定植当日	28 28 28 28・4A	ブレバソnfフロアブル 5 ベ リ マ ー ク S C ヨ ー バ ル フ ロ ア ブ ル (混)ジュリボフロアブル
		定植前日 ～定植時	4A 4A 28・4A	アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 (混)キックオフ顆粒水和剤
		発生初期 (若齢幼虫期)	4E 5 6 6 13 15 15 18 22A 22A 28 28 28 28 30 UN 28・4A 21A・22B	フィールドマストフロアブル デ ィ ア ナ S C ア フ ァ ー ム 乳 剤 ア ニ キ 乳 剤 コ テ ツ フ ロ ア ブ ル ノ ー モ ル ト 乳 剤 ア タ ブ ロ ン 乳 剤 ファルコンフロアブル ファイントリム D F トルネードエース D F フェニックス顆粒水和剤 ブレバソnfフロアブル 5 ベ ネ ビ ア O D ヨ ー バ ル フ ロ ア ブ ル ブ ロ フ レ ア S C ブ レ オ フ ロ ア ブ ル (混)ジュリボフロアブル (混)アクセルキングフロアブル
16 シロイチモジヨトウ	1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。 2. 苗床では飛び込み軽減のため、防虫ネット（4mm目合以下）で被覆する。 〈薬剤使用の特記事項〉 ●発生初期(若齢幼虫期) 1. 老齢幼虫には薬剤の効果が劣るので、圃場をよく見回り、若齢期に防除する。 2. 薬剤感受性の低下が見られる地域があるので注意する。	育苗期後半 ～定植当日	28	ベ リ マ ー ク S C
		発生初期 (若齢幼虫期)	22A 22A 28 30 30 UN	トルネードエース D F ファイントリム D F ベ ネ ビ ア O D グ レ ー シ ア 乳 剤 ブ ロ フ レ ア S C ブ レ オ フ ロ ア ブ ル
17 オオタバコガ	1. 幼虫は見つけしだい捕殺する。 2. 苗床では飛び込み軽減のため、防虫ネット（4mm目合以下）で被覆する。 〈薬剤使用の特記事項〉 ●発生初期（若齢幼虫期） 1. 老齢幼虫には薬剤の効果が劣るので注意する。	播種覆土後～ 育苗期後半	28・4A	(混)ミネクトデュオ粒剤
		育苗期後半 ～定植当日	28 28 28	ブレバソnfフロアブル 5 ヨ ー バ ル フ ロ ア ブ ル ベ リ マ ー ク S C
			28 28・4A 4A・28	プリロッソ粒剤オメガ (混)ジュリボフロアブル (混)アベイル粒剤
		育苗期後半 ～定植時	28	ブレバソnf粒剤
		定植前日 ～定植当日	4A	モスピラン粒剤
		定植前日 ～定植時	28・4A	(混)キックオフ顆粒水和剤
		定植当日	4A・5	(混)ガードナーフロアブル
		定植時	28・4A	(混)ミネクトデュオ粒剤

農薬の使用法や注意事項はラベルで確認する

レタス

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
		発 生 初 期 (若 齢 幼 虫 期)	1A 1B 1B 5 5 6 6 11A 11A 11A 11A 11A 11A 11A 11A 11A 11A 13 18 22A 22A 22B 28 28 28 28 30 UN 28・4A 5・18 21A・22B	ランネート45DF オルトラン水和剤 ジェイエース水溶剤 スピノエース顆粒水和剤 デ イ ア ナ S C ア フ ァ ー ム 乳 剤 ア ニ キ 乳 剤 トアローフロアブルCT ゼンターリ顆粒水和剤 デルフィン顆粒水和剤 エ ス マ ル ク D F フ ロ ー バ ッ ク D F エコマスターBT チューンアップ顆粒水和剤 サブリーナフロアブル ジャックポット顆粒水和剤 コ テ ツ フ ロ ア ブ ル ファルコンフロアブル フ ァ イ ン ト リ ム D F トルネードエースDF アクセルフロアブル フェニックス顆粒水和剤 プレバソンフロアブル5 ベ ネ ビ ア O D ヨ ー バ ル フ ロ ア ブ ル ブ ロ フ レ ア S C プ レ オ フ ロ ア ブ ル (混)ジュリボフロアブル (混)ファルコンエースフロアブル (混)アクセルキングフロアブル
18 ネキリムシ類	1. 被害株周辺を軽く掘り、幼虫を見つけたら捕殺する。 2. 作付け前の圃場の除草処理を徹底する。 〈薬剤使用の特記事項〉 ●定植前日～定植時 ジュリボフロアブル、キックオフ顆粒水和剤は、カブラヤガにのみ登録がある。	播 種 時 又 は 植 付 時	1B 1B	カルホス粉剤 カルホス微粒剤F
		播種時又は定植時～生育初期	1B 1B	カルモックスK
		播種覆土後～育苗期後半	28・4A	(混)ミネクトデュオ粒剤
		育苗期後半～定植当日	28 28・4A	プレバソンフロアブル5 (混)ジュリボフロアブル
		定植前日～定植時	28・4A	(混)キックオフ顆粒水和剤
		定植前	3A	フォー ス 粒 剤
		定植時 (植付時)	1B・1A 28・4A	(混)ランダイヤ粒剤 (混)ミネクトデュオ粒剤
		生育初期	3A 22B	ガードベイトA アクセルベイト
19 ナメクジ類	1. 除草や残さ処理などにより、多湿で有機物の多い圃場環境を避ける。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. 本虫対象にパダンSG水溶剤で防除を実施しているところでは、アブラムシ類の発生が少ない。	発 生 初 期	1A 14 14 ー ー	ランネート45DF パダンSG水溶剤 リーフガード顆粒水和剤 ナメクリー 3 マ イ キ ラ ー L

農薬の使用法や注意事項はラベルで確認する

レタス

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
20 ナモグリバエ	〈薬剤使用の特記事項〉 ● 播種覆土後～育苗期後半 ミネクトデュオ粒剤はハモグリバエ類に登録がある。 ● 育苗期後半～定植当日 ベリマークSC、プレバソンフロアブル5、ヨーバルフロアブル、プリロッソ粒剤オメガはハモグリバエ類に登録がある。 ● 定植前まで スピノエース顆粒水和剤はハモグリバエ類に登録がある。 ● 定植時 ミネクトデュオ粒剤はハモグリバエ類に登録がある。 ● 発生初期 1. 本虫対象にパダンSG水溶剤で防除を実施しているところでは、アブラムシ類の発生が少ない。 2. ディアナSC、パダンSG水溶剤、プレバソンフロアブル5、ベネビアOD、ヨーバルフロアブルはハモグリバエ類に登録がある。	播 種 前	4A	ア ク タ ラ 粒 剤 5
		播 種 覆 土 後 ～ 育 苗 期 後 半	28・4A	(混) ミネクトデュオ粒剤
		育 苗 期 後 半	4A 4A	ア ク タ ラ 粒 剤 5 ベ ス ト ガ ー ド 粒 剤
		育 苗 期 後 半 ～ 定 植 当 日	28 28 28 28	ベ リ マ ー ク S C プ レ バ ソ ン フ ロ ア ブ ル 5 ヨ ー バ ル フ ロ ア ブ ル プ レ バ ソ ン 粒 剤
			28 4A・28 28・4A	プ リ ロ ッ ソ 粒 剤 オ メ ガ (混) ア ベ イ ル 粒 剤 (混) ジュリボフロアブル
			定 植 3 日 前 ～ 定 植 当 日	4A・5 (混) ガードナーフロアブル
		定 植 前 日 ～ 定 植 当 日	4A	モ ス ピ ラ ン 粒 剤
		定 植 前 日 ～ 定 植 時	4A 4A 28・4A	ア ル バ リ ン 顆 粒 水 溶 剤 ス タ ー ク ル 顆 粒 水 溶 剤 (混) キックオフ顆粒水和剤
		定 植 前 ま で	5	ス ピ ノ エ ー ス 顆 粒 水 和 剤
		定 植 時	4A 4A 28・4A	ア ル バ リ ン 粒 剤 ス タ ー ク ル 粒 剤 (混) ミネクトデュオ粒剤
		発 生 初 期	4A	ダ ン ト ツ 水 溶 剤
			4A	モ ス ピ ラ ン 顆 粒 水 溶 剤
			4E	フ ィ ー ル ド マ ス ト フ ロ ア ブ ル
			5	デ ィ ア ナ S C
			6	ア フ ェ ー ム 乳 剤
			13	コ テ ツ フ ロ ア ブ ル
			14	パ ダ ン S G 水 溶 剤
			14	リ ー フ ガ ー ド 顆 粒 水 和 剤
			21A	ハ チ ハ チ 乳 剤
			21A	ハ チ ハ チ フ ロ ア ブ ル
			28	プ レ バ ソ ン フ ロ ア ブ ル 5
			28	ベ ネ ビ ア O D
			28	ヨ ー バ ル フ ロ ア ブ ル
			UN	プ レ オ フ ロ ア ブ ル
			28・4A 21A・22B	(混) ジュリボフロアブル (混) アクセルキングフロアブル